

年頭に当たって

明けましておめでとうございます。

本年が皆様お一人おひとりにとって、輝かしい年となりますよう祈念申し上げます。

早いもので令和7年度は第5期中期目標・中期計画の3年目、中間年度となります。中期目標で示された脱炭素・グリーン化の取組の導入・加速化、デジタル技術を活用したスマート農林水産業の実装など社会経済情勢の変化に対応した信用補完業務の展開について、これまでの取組を検証し、更なる深化を図る必要があります。

去年は年初に能登半島地震が発生するなど、多くの災害に見舞われた年でありました。災害に遭われた全ての農林漁業者の皆様にお見舞い申し上げますとともに、農林漁業信用基金としても農業共済組合や漁業共済組合の支援に万全を期してまいります。

また、去年は25年ぶりに食料・農業・農村基本法が改正されるという大きな政策の見直しが行われた年でもありました。これを受けて関係予算の拡充等が行われるとともに、様々な制度の見直しが今後想定されるところです。各関係機関・団体の皆様と連携して適切に対応していきたいと思っております。

これらの状況を踏まえつつ、信用力の補完を通じて農林漁業者の皆様を支援するという農林漁業信用基金の本分を果たすべく、業務の充実に努めてまいりますので、関係各位のご理解、ご支援を引き続きよろしくお願いいたします。

本年の干支は乙巳^{きのとみ}です。乙は成長、広がり、巳は脱皮、再生の象徴とあります。このように、皆様それぞれの地域において農林漁業が更に発展され、地域の活力につながっていくことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



独立行政法人 農林漁業信用基金
理事長 牧元 幸司